

主な記事

2面:各地で大会▽新潟の海藤書記長が勇退
3面:白、ライドシェアが登場
4面:「要求根拠は「欲しいから」で十分」連合春闘討論

全自交しんぶん

第1254号

11月25日

(有料制1078号)

2024年/令和6年

THE ZENJIKO
全自交しんぶん

発行=全国自動車交通労働組合連合会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目7番9号
電話=03東京(3408)0875
FAX=03東京(3497)0107
zenjiko-roren@zenjiko.or.jp
発行責任者=野尻 雅人
原則毎月15日発行(月1回)
……購読料 1ヵ月 70円……

東海地連 北信越地連が誕生



11月5日、全自交中部地方連合会の第13回定期大会が新潟県弥生温泉「みのや」で開催され、中部地連が2つに分かれ、新たに東海地連と北信越地連を結成することが確認されました。両地連は12月よりそれぞれの活動を開始します。10月の全自交労連本部大会で中部地連の分割が承認されていました。

冒頭、今期で退任する井上修委員長は「全自交は政策集団だ。東海・北信越の両地連もこれまでも増して政策集団としての活動を展開していった欲しい」と挨拶し、来賓として出席した全自交労連の溝上泰央中央執行委員長は「円滑な分割への協力に感謝する。これからも全自交本部として東海・北信越の活動を支援していく」と述べました。

役員改選により、下出健雄委員長と上田学書記長が分割までの間の中部地連役員として

て選任されています。大会後に東海地連・北信越地連の旗開き記念式典が執り行われ、溝上中央執行委員長から両地連の新しい組合旗が手渡され披露されました。

東海を代表してあいさつした委員長は「分割しても中部の同僚は「分割しても中部の同僚は「分割しても中部の同僚は」仲間としての気持ちは無く割られたことを生かし、きめ細かい活動を展開したい」と述べ、北信越を代表してあいさつした富山地連の石橋剛委

運賃改定ハードル緩和 7割ルールが5割に

国土交通省は11月8日にタクシー運賃改定のルールを緩和する方針を明らかにしました。これまで運賃ブロック内のタクシー事業者の7割以上(保有台数ベースで7割)から、運賃改定の申請が出ない限り審査がスタートしないルールでしたが、その基準を5割以上に緩めて運賃改定をやりやすくする内容の改正局が公示する予定です。タクシー乗務員が物価高騰の中で生活を維持できる賃金、他産業を上回る魅力的な賃金を実現するためには、価格転嫁の運賃改定は欠かせません。また配車アプリ等の利用が増える中で、迎車・回送料金を設定することも、重要かつ喫緊の課題です。経営者に価格転嫁の必要性を訴え、全国で再度の運賃改定と迎車料金設定を実現しましょう。

高騰の中で生活を維持できる賃金、他産業を上回る魅力的な賃金を実現するためには、価格転嫁の運賃改定は欠かせません。また配車アプリ等の利用が増える中で、迎車・回送料金を設定することも、重要かつ喫緊の課題です。経営者に価格転嫁の必要性を訴え、全国で再度の運賃改定と迎車料金設定を実現しましょう。

迎車料金も必要!!

政権交代は目の前だ

衆議院選挙で与党を過半数に追い込んだ結果、政治の景色はガラッと変わりました。

家計負担の軽減に向けた動きなど、大企業や富裕層を優遇してきた政治から生活者も追い風が吹いています。

しかし、まだ参議院で与党が過半数を握っている限り、真の政権交代への道は開きません。来年7月に予定されている参院選こそ正念場です。



森屋たかし 議員



岸まきこ 議員

全自交労連は次の参議院選挙で 森屋たかし 参議院議員(私鉄総連組織内) 岸まきこ 参議院議員(自治労組織内) の推薦を決定しています

連合は11月1日に開いた春闘討論集会で、2025春闘の基本構想を示し、賃金要求の水準を、5%以上(賃上げ3%以上+定期昇給2%)としました。中小労組において、大手との格差是正分を含め1万8000円以上かつ6%以上を要求水準とします。

昇傾向にあるものの、また全産業平均と比べ年収ベースで87万9500円の開きがあり、産業間の格差を縮めるには連合の水準以上の賃金改善を果たさなくてはなりません。

連合25春闘 中小1.8万要求

15000円を公約にしました。仮に月間労働が200時間ならば月額最賃は30万円となり、さらに割増賃金(仮に残業30時間・深夜40時間の場合)を足せば32万6250円となります。法令違反を犯さない最低水準の賃金です。飛躍的な賃金の向上が必要です。

青ナバー

夜7時半ごろ、本部の事務所の電話が鳴った。「私は〇〇中学3年生の△△です」。どう考えても

少年のような、誰かの下に届いている。それを実感できる出来事だった K・T

東京地連 定期大会

推薦候補22人当選 RS新法阻止



「ライドシェア新法絶対阻止」を誓い拳を振り上げた東京地連の仲間

全自交東京地連は10月29日、新宿区の四谷区民ホールで第127回定期大会を開き、ライドシェア新法断固阻止を柱とする新年度運動方針や予算を確立しました。

運動方針では、東京のタクシ乗務員の推計年収が東京の全産業平均を上回った事実を強調し、「引き続き待遇改善を進めれば乗務員不足は必ず解消する」としました。

新潟地連 定期大会



全自交新潟地方連合会は10月31日、新潟市の東映ホテルで第62回定期大会を開催し、前年度の活動・会計報告と新年度の運動方針・予算を確立しました。



2011年11月、新潟の運賃カルテル認定に対する抗議行動で、公正取引委員会を糾弾する海藤書記長

海藤書記長が勇退



退任の辞を述べた海藤書記長

新潟地連の大会後、長年にわたる海藤書記長が勇退した。海藤書記長は「1969年にタクシ運転者として就職して組合に関わって以降、組合員の労働環境を改善することに全力を尽くしてきた。組合員から感謝の言葉を受けることが励みとなった。これからの世代の人たちに期待するとともに、支えて頂いた全ての人に感謝したい」と思いを語りました。

富山地連 『保守王国』に風穴



「新法阻止参院選勝利に向けガンバロー」と三唱

全自交富山地連は11月12日、富山交通内会議室に於いて23名が出席し、第45回定期大会を開催しました。

主催者を代表してあいさつした石橋剛委員長は、「能登半島地震により、富山県では西部地域が大きく被害を受け、未だに全面復旧したわけではない。石川県を含め一日も早い復旧・復興を願いたい」とお見舞いを述べました。

中、保守王国といわれる富山において、比例復活当選とはいえ国会議員を輩出できた。一票一票の投票行動、ご協力をお願いした組合員のおかげ。来年度は参院選もあり本当の意味での政権交代を図るために今日からスタートを切っていきなさい」と表明。

活動報告・会計報告・新年度運動方針・予算のすべてが承認され、富山地連の新年度執行体制として、石橋剛委員長(再任・富山交通労組)、松井巖副委員長(新任・高岡交通労組)、中島信二書記長(再任・富山交通労組)の3氏が承認されました。

静岡ハイタク 「他に負けぬ労働環境を」

「労働環境の改善こそライドシェア阻止に必要なこと」と述べた新垣議長



全自交静岡ハイタク連合会は10月29日、静岡県浜松市「こくみん宿舎 奥浜名湖」で第12回定期大会を開催し、前年度の活動・会計報告と新年度の運動方針・予算を確立しました。

大会開催にあたり全自交静岡ハイタク連合会の新垣議長は「コロナ禍以降のハイタク需要の回復と運営改定により、組合員の労働環境は改善に向かっている。この流れを継続し他産業に負けない労働環境を構築することが乗務員数の更なる回復に繋がる。それがライドシェア新法阻止に必要なことだ」と挨拶しました。

東北地連「物価高こえる賃上げを」



東北地連の新役員陣。左から加藤直人副執行委員長(秋田)、遠藤栄二副執行委員長(山形)、森茂書記長(岩手)、高橋学執行委員長、江良實執行委員(青森)、後藤勝会計監査(青森)の各氏

全自交東北地連は11月10日、選でも勝つことがライドシェア市のアキタパークホテル

(秋田地連)を選任。江良實氏(青森地連)が書記長から執行委員となり、新書記長に森茂氏(岩手地本)が就任しました。

秋田市のアキタパークホテルで第50回定期大会を開き、東北各県より31人が参加し、運動方針を確立しました。高橋学執行委員長は物価上昇を超える賃上げの実現に強い決意を表明。さらに「東北全体で野党が勝ち越した」と、衆院選の尽力に感謝し「参院

来賓出席した本部の津田光太郎書記次長が、最低賃金1500円時代に必要賃金改善の水準や、ライドシェアの動向について講演し「最賃を払えないからと、労働時間をこまかすような経営に未来はない」と断じました。

江良氏が書記長を退任



運動方針を提起する江良書記長。「東北地連はこれからも、『全てのライドシェアに反対』の姿勢で運動する」と表明しました

長年、青森と東北の全自交運動を支えてきた江良氏が、東北地連書記長を退任し、段階的に表舞台を離れようとしています。江良氏は青森地連が取り組んだ特定地域をめぐる国賠訴訟などで活躍。また「演説の名人」として知られ、多くの現場で、その声を全国に響かせてきました。

秋田県交運が街宣行動



秋田駅前、タクシードライバーを代表して訴えた全自交秋田地連の加藤委員長(右)、秋田県交運の澤田議長(左)はライドシェアの危険性を説明しました

秋田県交運協では11月11日の月曜日午後5時から、秋田駅前の「ぼぼろーど」に11人が集結し「公共交通を守り雇用破壊を許さない全国統一宣伝行動」の一環として「ライドシェア新法反対」を訴える街頭行動を行いました。気温10度以下の活動となりましたが、通行人の方々にティッシュ200個を配りアピールしました。

秋田県交運協の澤田宏議長が海外で犯罪・事件・トラブルが発生しているライドシェアの危険性を説明。さらに、タクシードライバーを代表し、全自交秋田地連の加藤直人執行委員長がライドシェア新法の成立で現下ドライバーの雇用環境が失われる事をアピールしました。また、ティッシュと一緒に両面にライドシェアや鉄道・バス、トラック運送の課題などが書かれたチラシも配布しました。道行く方々からは「頑張ってください」「ライドシェアには怖くて乗れない」「ライドシェア反対」の声がありました。

公共交通守り 雇用破壊許さん

雇用破壊許さん

地連第58回



あいさつする後藤委員長



八戸市の山名副議長

全自交青森地連は10月27日、青森県労働福祉会館で、第58回定期大会を開催し、参加者全員で意見交換しながら、運動方針を確立しました。後藤勝委員長は「一番苦しんでいるのは組織拡大。会社に不満があるのに組合に加入しない人が増えた。どう組織化するかが、これを実現しない限り全自交もなくなってしまう」と、辛い思いを語りました。この山名氏と東北地連の加藤委員長、本部の津田光太郎書記次長が参加し、高橋学執行委員長は「団結しない労働者は砂粒に過ぎない」と団結の重要性を述べました。

青森地連 課題は組織拡大

江良特別執行委員が運動方針を提案。来賓として、9月に八戸市議会副議長に就任

海外では、白〇ライドシェア登場

海外では、ライドシェア事業者がドライバーを搾取し続けた結果、ついに白〇ライドシェアが登場しています。ライドシェアが登場する事象となつて。こう言ったのです。「あなたは62ドルの料金を払うけど、私は会社から18ドルの報酬しかもらえない」。ドライバーの待遇に同情し、早く家に帰りたい彼女が、「Lylee」での注文をキャンセルして、直接ドライバーに62ドルを電子送金し車に乗り込みました。しかし運転を始めたドライバーは、急に攻撃的な口調となり、入金を確認できるまで、ノロノロ運転でまともに走ろうとしません。そこで彼女は、今の自分がどこにも記録されずモニターされていない危険な状態であることを決意して日本へ生じた。

ドライバー搾取の末路

海外では、ライドシェア事業者がドライバーを搾取し続けた結果、ついに白〇ライドシェアが登場しています。ライドシェアが登場する事象となつて。こう言ったのです。「あなたは62ドルの料金を払うけど、私は会社から18ドルの報酬しかもらえない」。ドライバーの待遇に同情し、早く家に帰りたい彼女が、「Lylee」での注文をキャンセルして、直接ドライバーに62ドルを電子送金し車に乗り込みました。しかし運転を始めたドライバーは、急に攻撃的な口調となり、入金を確認できるまで、ノロノロ運転でまともに走ろうとしません。そこで彼女は、今の自分がどこにも記録されずモニターされていない危険な状態であることを決意して日本へ生じた。

RSテーマにシンポ



青森県交運

青森県交運協は10月28日、青森県労働福祉会館で毎年恒例の交通シンポジウムを開き、今回はライドシェアをテーマにして東北運輸局の関澤誠旅客二課長の講演を聞き、日本版ライドシェアの概要等を学びました。

連合 2025春闘討論集会



連合は11月1日、都内で2025春季生活闘争中央討論集会を開き、春闘の基本構想を議論しました。24春闘で実現した賃上げの「新たなステージ」を定着させ、格差是正と、分配構造の転換を呼び掛けるもので、近年は取り残されがちだった中高年層の賃上げの重要性にも言及しました。討論の中では交通分野等の公共料金分野においても価格転嫁を推進する重要性などが議論されました。

具体的な要求水準は少なくとも5%以上(定算2%+賃上げ3%)とし、中小労組では格差是正を含め1万8000円以上を目安とし、同時に非正規労働者では円・6%以上を目安としました。同時に非正規労働者では

格差是正を重視

要求根拠は「ほしいから」で十分

討論集会では労働政策研究・研修機構の藤村博之理事(法政大学名誉教授)の基調講演が行われました。藤村氏は「会社から『要求の根拠は?』と聞かれたら『欲しいんです!』と答えれば十分。売上や利益の動向を考えるのは経営者の役割だ。『欲しいんです』と主張し続けた組合は相場以上の賃上げを獲得した。『経営側と数字で議論をしても勝てない。決

訃報

闘病中だった佐々木勝弘・全自交北海道地連副執行委員長(函館タクシー労組執行委員長、全自交函館地協委員長)が11月17日、逝去されました。20日の葬儀では、組合運動に尽力されてきた故人を偲び、ご遺体を乗せた車両を組合員や函館タクシー社長ら一同が見送りました。



2日間にわたって、職場の問題や制度・政策の課題について意見交換しました

自治労全国一般・自動車教習所協議会(自教労協、河田貴宏議長)と、全自交自教部会(高橋学部長)は11月4・5日、大阪市の「エルおおさか」で、第53回自教全国交流集会を開催しました。13道府県38名が参加し、定年再雇用後の待遇や、団交の闘い方、入校生を増やす取り組み等について活発に議論しました。



全自交自教部会は4日に、2025春闘の要求水準を議論。連合の中小要求と同じ1万8000円とする方針を確認しました。交流集会では、新潟地連・新井自動車学校労働組合の岡田章委員長が「地域の5つの自教職場で一律1万円の基本給のベースアップを要求して

新潟は地域で統一要求

全自交自教の要求は1.8万円

さつで、公共性の高い自教において、公共性の高い自教に要するコストが高騰している結果、2024春闘では指要であると強く訴えました。自教労協の種井一平事務局長が基調報告を提案。36職場と、昨年実績に届かず、中小

自動車教習所 全国交流集会

「もっと高い賃金が必要だ」

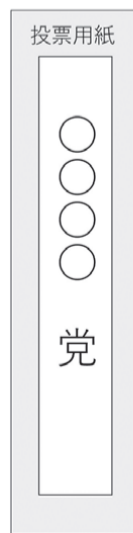
が回答した賃金労働条件調査の結果、2024春闘では指高騰の中で厳しい結果であったことを報告し、25春闘や年末一時金闘争に向けて闘うことを確認しました。

選挙の仕組み

参議院の比例は「候補者名」でも投票できます!

※各政党の名簿登載者の当選の順位は、得票数の最も多い者から決められます(特定枠の候補者を除く)

※候補者名での得票数は、その候補が所属する政党の比例得票数に合算されます



どちらでもOK